

# アンケート結果 概要

## 1 回収状況

回収率は、未就学児童調査は71.0%と前回(75.2%)よりも4.2ポイント、小学生児童調査は86.6%と前回(86.8%)よりも0.2ポイント低下しています。

### 【調査対象者と実施概要】

調査の対象者	未就学の児童のいる世帯及び小学生児童のいる世帯
調査対象地域	小山町全域
調査形式	アンケート調査
配布・回収方法	・未就学児童のいる世帯：就園児→園経由にて配布・回収 未就園児→郵送にて配布・回収 ・小学生児童のいる世帯：町内小学生→学校経由にて配布・回収 町外小学生→郵送にて配布・回収
調査期間	2019年2月

### 【回収結果】

	配布数	回収数	回収率
未就学児童調査	700件	497件	71.0%
小学生児童調査	710件	615件	86.6%

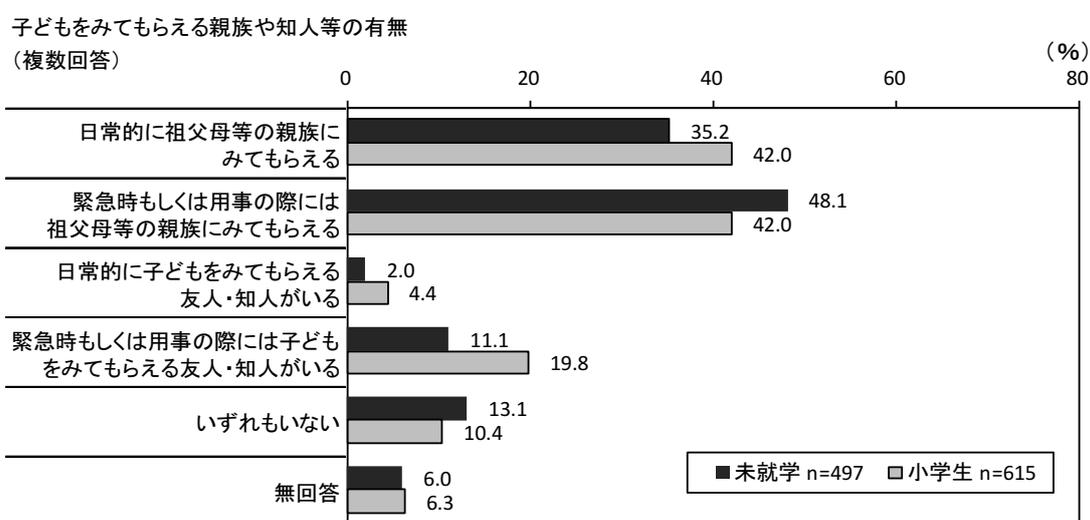
## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無

◎大多数が子どもをみてもらえる親族や知人がいるものの、須走地区では“いない”比率が高い

子どもをみてもらえる親族や知人の有無については、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」もしくは「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が未就学及び小学生ともに多くなっています。

しかし、地区別にみると、須走地区は「いずれもない」が、未就学及び小学生ともに3割前後に上ります。



(件,%)

		合計	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答	
未就学	全体	374	27.4	81.1	38.2	12.0	-	-	
	地区別	成美地区	61	49.2	42.6	1.6	6.6	9.8	9.8
		明倫地区	78	39.7	50.0	-	3.8	9.0	7.7
		足柄地区	55	41.8	49.1	1.8	7.3	5.5	9.1
		北郷地区	179	41.3	56.4	1.7	10.1	6.7	3.9
		須走地区	120	11.7	35.8	4.2	21.7	30.8	5.0
小学生	全体	615	42.0	42.0	4.4	19.8	10.4	6.3	
	地区別	成美地区	107	48.6	34.6	6.5	20.6	8.4	5.6
		明倫地区	90	50.0	42.2	5.6	17.8	4.4	6.7
		足柄地区	61	45.9	47.5	4.9	16.4	8.2	8.2
		北郷地区	203	50.2	51.7	3.4	19.2	1.5	3.4
		須走地区	147	19.0	32.0	3.4	23.8	29.3	7.5

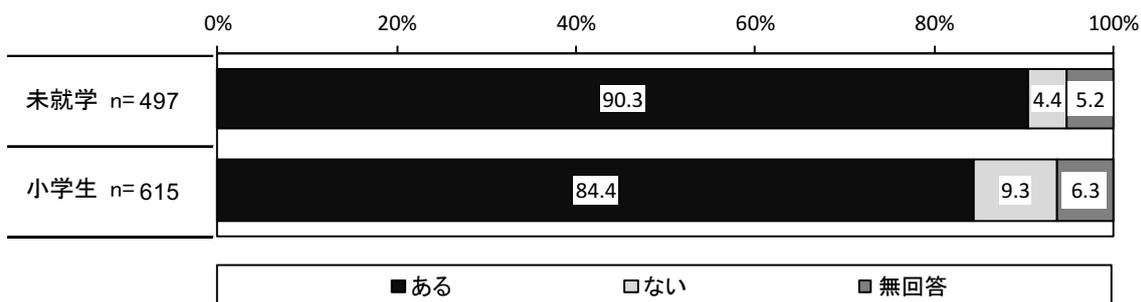
(2) 気軽に相談できる人または場所の有無

◎気軽に相談できる人または場所は、未就学は大きな変化がみられなかったものの、小学生は「ある」が8割台半ばと前回よりも低下

気軽に相談できる人または場所の有無については、未就学は「ある」が90.3%と前回と同程度ですが、小学生は前回よりも8.2ポイント低下して84.4%となっています。

なお、相談先が「ある」は、未就学は須走地区では8割強、小学生は足柄地区では8割弱とやや低い比率となっています。

気軽に相談できる場所の有無



(件,%)

	未就学		小学生	
	今回	前回 n=692	今回 n=615	前回 n=514
ある	90.3	90.2	84.4	92.6
ない	4.4	3.6	9.3	4.9
無回答	5.2	6.2	6.3	2.5

(件,%)

		未就学			小学生				
		件数 (n)	ある	ない	無回答	件数 (n)	ある	ない	無回答
全体		374	90.3	4.4	5.2	615	84.4	9.3	6.3
地区別	成美地区	61	93.4	1.6	4.9	107	83.2	12.1	4.7
	明倫地区	78	92.3	3.8	3.8	90	85.6	8.9	5.6
	足柄地区	55	89.1	7.3	3.6	61	77.0	9.8	13.1
	北郷地区	179	93.3	1.1	5.6	203	88.7	6.9	4.4
	須走地区	120	83.3	10.0	6.7	147	83.0	10.2	6.8

### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親：現在の就労状況

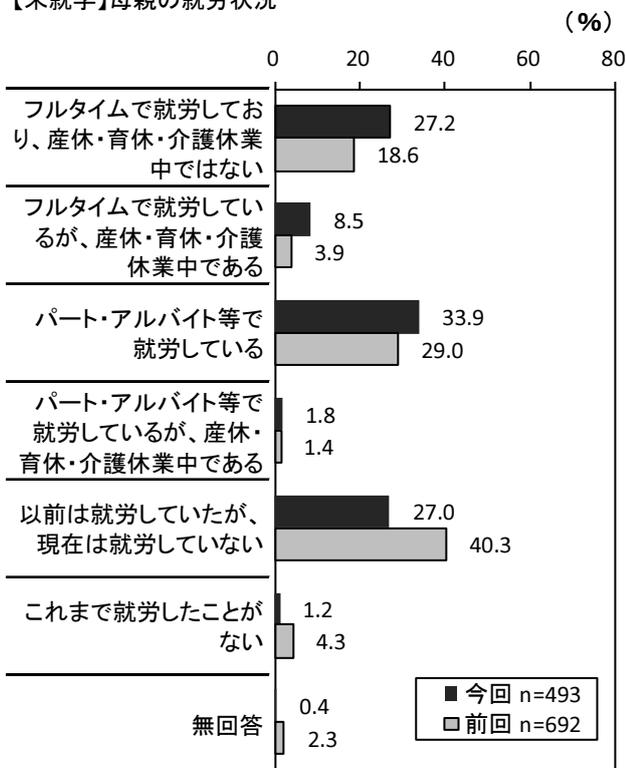
◎未就学及び小学生ともに母親の就労比率は上昇。特にフルタイムが前回よりも上昇

前回と比較すると、母親の就労状況に変化がみられます。

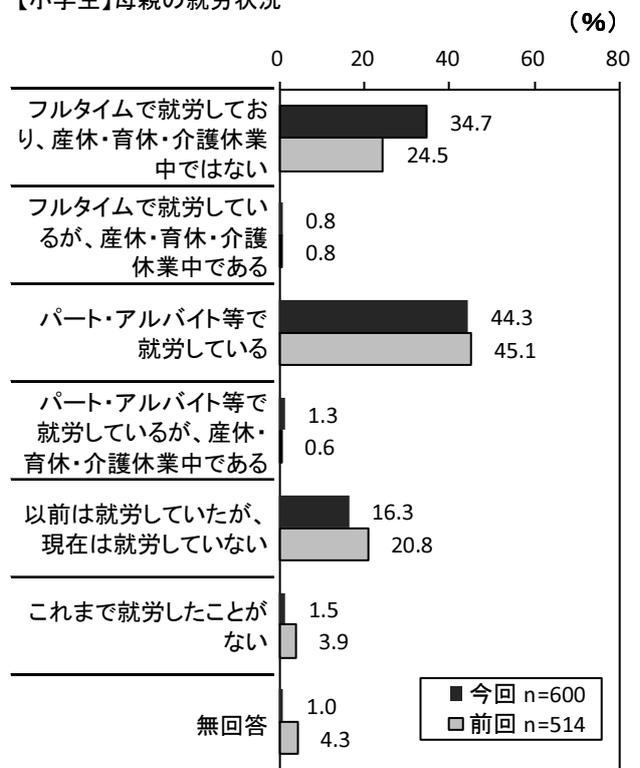
母親は就労している比率が上昇しており、「フルタイムで就労している」は、未就学は27.2%で前回よりも8.6ポイント、小学生は34.7%で10.2ポイント上昇するなど、フルタイムの就労が特に上昇しています。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」は、未就学は27.0%と前回よりも13.3ポイント、小学生は16.3%で前回よりも4.5ポイント低下しています。

【未就学】母親の就労状況



【小学生】母親の就労状況

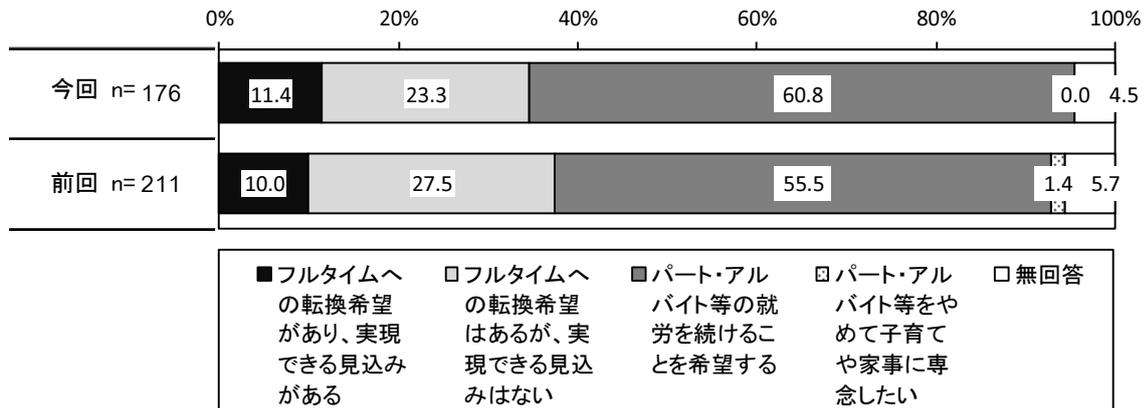


(2) 母親：パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望

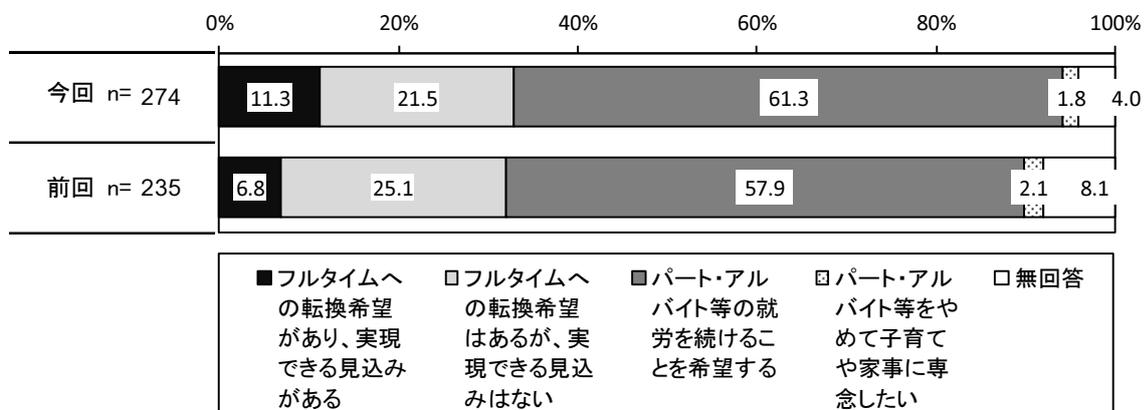
◎パート・アルバイト等での就労を継続する希望が未就学及び小学生ともに多い

パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が多く、未就学は60.8%で前回より5.3ポイント、小学生は61.3%で前回よりも3.4ポイント上昇しています。

【未就学】母親：フルタイムへの転換希望



【小学生】母親：フルタイムへの転換希望



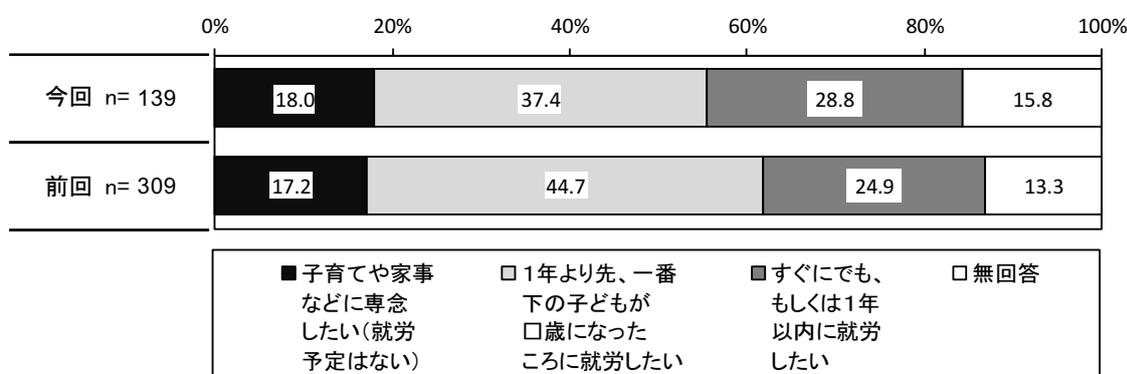
(3) 母親：現在就労していない人の就労希望

◎未就労者の就労希望率は、未就学は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が前回よりも上昇

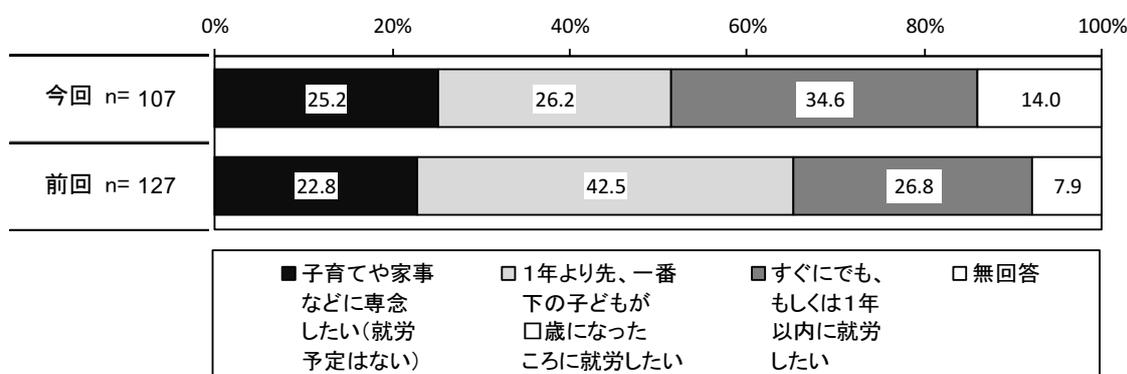
就労していない人の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が上昇しており、未就学は28.8%で前回よりも3.9ポイント、小学生は34.6%で前回よりも7.8ポイント上昇しています。

一方、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」は低下しており、未就学は37.4%で前回よりも7.3ポイント、小学生は26.2%で前回よりも16.3ポイント低下しています。

【未就学】母親：就労していない人の就労への希望



【小学生】母親：就労していない人の就労への希望



(4) 家庭類型

◎未就学は共働き世帯の比率が前回よりも上昇し、“夫婦ともにフルタイム”が3割台半ばと前回よりも大きく上昇

ニーズ調査の結果を活用し、現状の就労状況等からみる家庭類型（父親・母親の同居状況や就労状況から家庭の状況を分類したもの）を行いました。

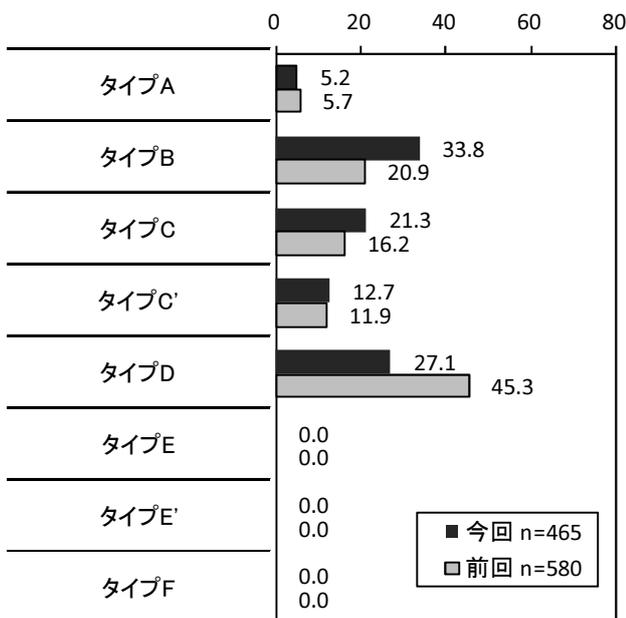
《家庭類型の種類》

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間:いずれかが月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)
タイプF	無職×無職

その結果、未就学及び小学生ともに、今回は「タイプB」が3割台と最も多く、未就学は前回よりも12.9ポイント、小学生は13.9ポイント上昇しています。一方、「タイプD」は、未就学は27.1%で前回よりも18.2ポイント、小学生は11.6%で前回よりも12.3ポイント低下しています。

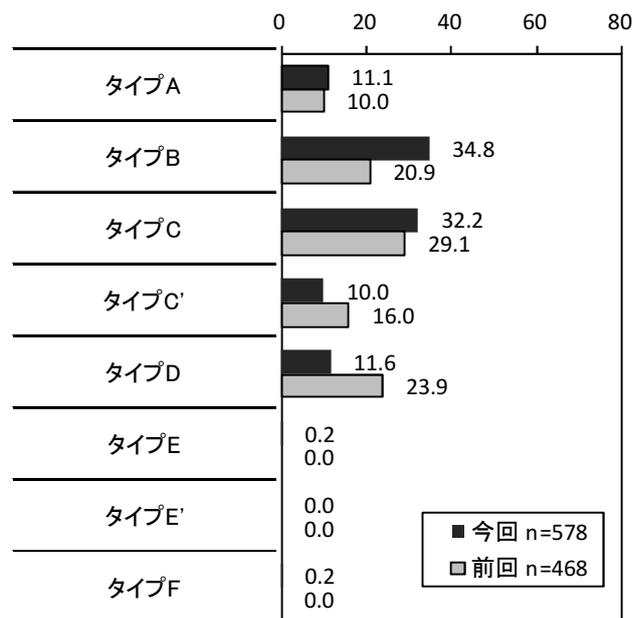
【未就学】現在の家庭類型 今回と前回の比較

(%)



【小学生】現在の家庭類型 今回と前回の比較

(%)



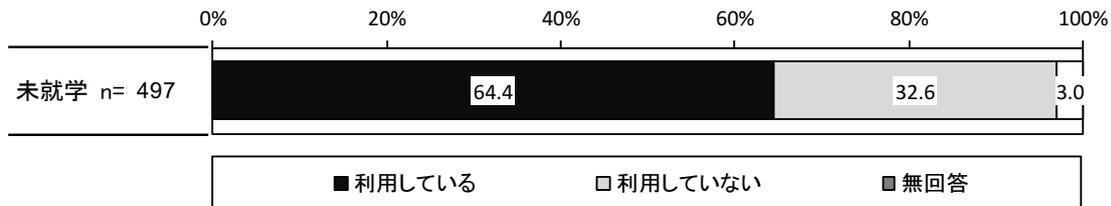
## 4 幼稚園や保育園などの利用について

### (1) 平日の定期的な利用状況

#### ◎幼稚園や保育園などの利用は、1歳から年齢が上がるごとに上昇

平日の定期的な幼稚園や保育園などの利用については、0歳の利用は僅かで、1歳から利用が増え、1歳は3割台半ば、2・3歳は6割台半ば、4歳以上はほぼ全員となっています。

幼稚園や保育園などの定期的な利用状況



(件,%)

		合計	利用している	利用していない	無回答
全体		497	64.4	32.6	3.0
年齢別	0歳	78	5.1	93.6	1.3
	1歳	65	36.9	60.0	3.1
	2歳	80	66.3	30.0	3.8
	3歳	73	65.8	28.8	5.5
	4歳	77	96.1	1.3	2.6
	5歳	73	94.5	2.7	2.7
	6歳	48	97.9	-	2.1

### (2) 平日「定期的に」利用している事業

#### ◎利用事業の1位は認定こども園で5割強、2位は認可保育所で3割強

平日「定期的に」利用している事業については、1位が認定こども園で47.2%、2位は認可保育所で31.6%、3位は幼稚園で16.3%となっています。年齢別では、1歳以上はいずれも認定こども園が1位となっています。

#### 【平日「定期的に」利用している事業】

		今回 (320件)		前回 (502件)	
1位	認定こども園	47.2	-		
2位	認可保育所	31.6	46.6		
3位	幼稚園	16.3	48.2		

		合計	幼稚園	認可保育所	認定こども園
全体		320	16.3	31.6	47.2
年齢別	0歳	4	-	75.0	25.0
	1歳	24	-	29.2	58.3
	2歳	53	1.9	39.6	49.1
	3歳	48	4.2	43.8	45.8
	4歳	74	20.3	31.1	44.6
	5歳	69	29.0	23.2	46.4
	6歳	47	29.8	19.1	48.9

(3) 事業の利用時間帯

◎利用時間帯の希望は、現在よりも広い時間帯でのニーズが多い

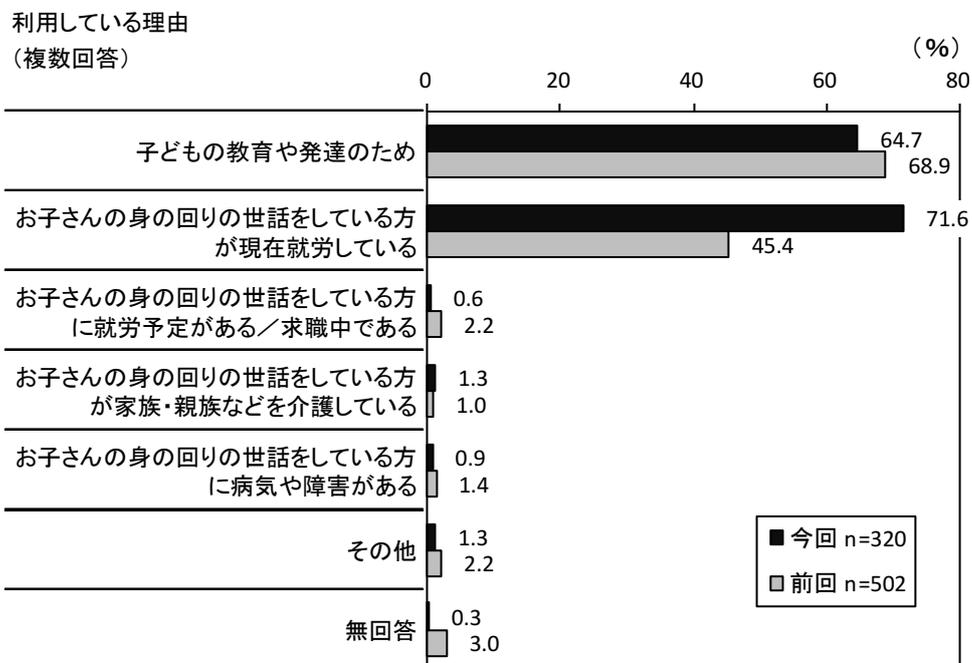
利用時間帯は、現在の開始時間は7時台ですが、希望は「6時30分～7時未満」があり、終了時間は「19時」以降の希望が現在よりも多く、現在よりも希望の時間帯は幅広くなっています。

		(件)				(件)	
利用開始時間	件数	利用終了時間	件数	希望開始時間	件数	希望終了時間	件数
7時～7時30分未満	17	11～13時台	3	6時30分～7時未満	4	11～13時台	1
7時30分～8時未満	39	14時台	80	7時～7時30分未満	22	14時台	12
8時～8時30分未満	71	15時台	9	7時30分～8時未満	28	15時台	35
8時30分～9時未満	109	16時台	75	8時～8時30分未満	68	16時台	73
9時台	76	17時台	102	8時30分～9時未満	63	17時台	69
10時台	1	18時台	40	9時台	54	18時台	30
無回答	7	19時台	2	10時台	1	19時台	18
合計	320	20時台	1	無回答	80	20時台	1
		無回答	8	合計	316	21時台	1
		合計	320			無回答	80
						合計	319

(4) 利用している理由

◎利用する理由の1位は保護者の就労で7割強に上り、前回よりも大きく上昇

利用している理由は、今回は「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している」が71.6%と最も多く、前回よりも26.2ポイント高くなっています。

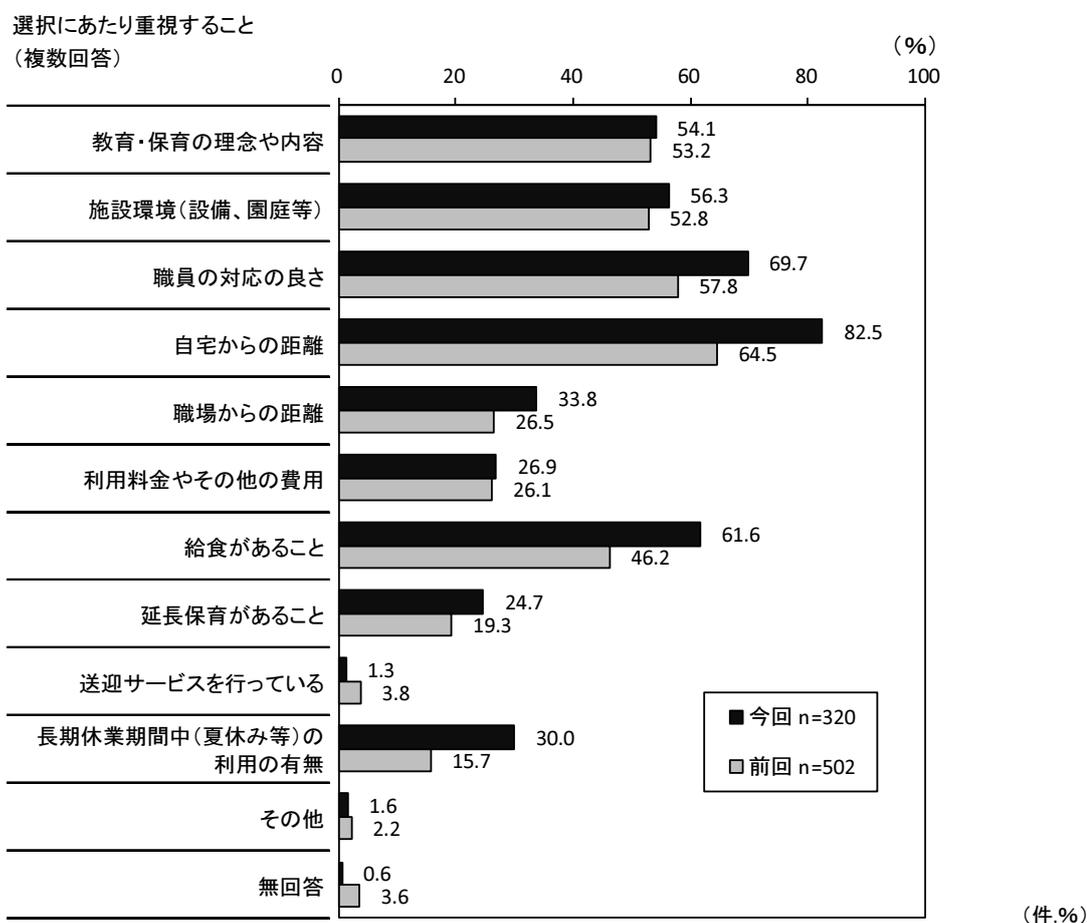


(5) 利用にあたって重視すること

◎利用にあたって重視することは、自宅からの距離が1位で8割強となり、前回よりも大きく上昇

利用にあたって重視することについては、「自宅からの距離」が82.5%と最も多く、前回よりも18.0ポイント上昇しています。また、「給食があること」は、今回は61.6%と前回よりも15.4ポイント、「長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無」は30.0%で前回よりも14.3ポイント上昇するなど、全般的に前回は上回っています。

主な利用事業別では、幼稚園は「教育・保育の理念や内容」、認可保育園及び認定こども園は「自宅からの距離」が最も多くなっています。また、認定こども園は他の事業に比べると「長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無」が多くなっています。

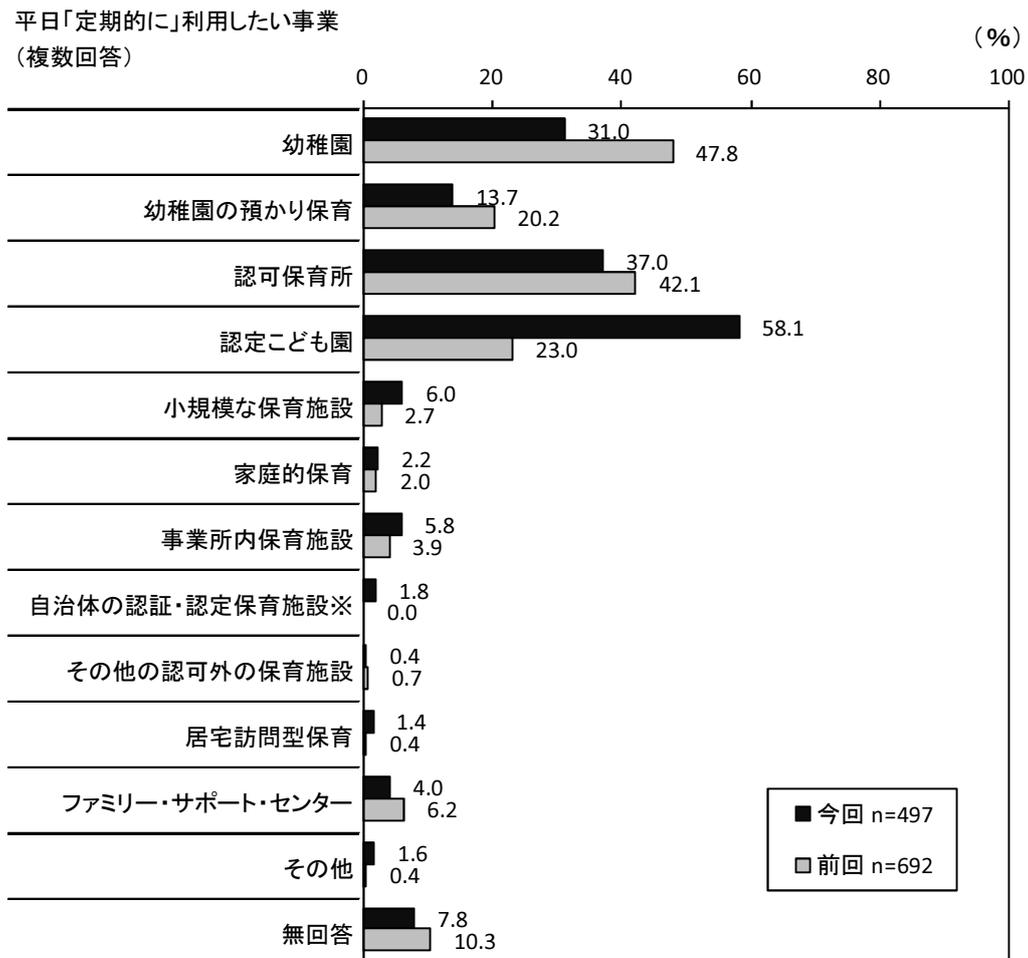


		合計	教育・保育の理念や内容	施設環境(設備、園庭等)	職員の対応の良さ	自宅からの距離	職場からの距離	利用料金やその他の費用
全体		320	54.1	56.3	69.7	82.5	33.8	26.9
主な利用事業別	幼稚園	52	73.1	61.5	71.2	71.2	17.3	36.5
	認可保育所	101	47.5	47.5	72.3	90.1	37.6	32.7
	認定こども園	151	51.0	62.9	67.5	84.1	35.8	21.9
		合計	給食があること	延長保育があること	送迎サービスを行っている	長期休業期間中(夏休み等)の利用の有無	その他	無回答
全体		320	61.6	24.7	1.3	30.0	1.6	0.6
主な利用事業別	幼稚園	52	53.8	19.2	3.8	9.6	-	-
	認可保育所	101	55.4	18.8	1.0	20.8	1.0	1.0
	認定こども園	151	68.9	31.1	-	41.7	2.6	-

(6) 幼稚園や保育園など、平日の定期的な利用希望

◎平日の定期的な利用希望は、1位が認定こども園で6割弱となり、前回よりも大きく上昇

幼稚園や保育園など、平日の定期的な利用希望については、今回は「認定こども園」が 58.1%と最も多く、前回よりも 35.1 ポイント上昇しています。一方、「幼稚園」は、今回は 31.0%と前回よりも 16.8 ポイント低下しています。



※前回調査はない項目

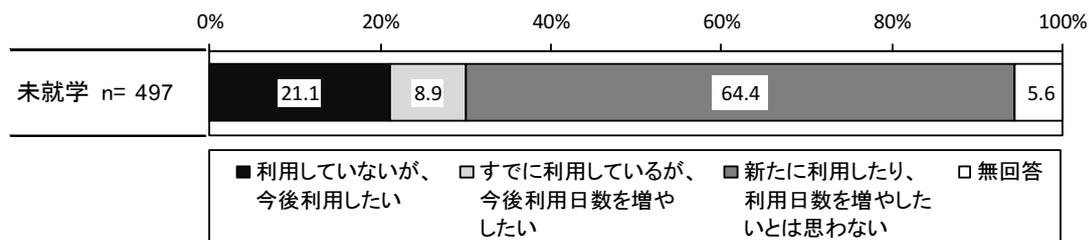
## 5 各種子育て支援事業の利用意向について

### (1) 地域子育て支援センター事業などの利用意向

◎0歳・1歳は、“今後利用したい”や“利用を増やしたい”という利用希望が多い

地域の子育て支援センター事業などの利用意向については、0歳及び1歳の利用希望が多く、特に0歳は「利用していないが、今後利用したい」が4割台半ばと多くなっています。

今後の地域子育て支援事業の利用希望



(件,%)

		合計	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やした	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体		497	21.1	8.9	64.4	5.6
年齢別	0歳	78	46.2	14.1	37.2	2.6
	1歳	65	24.6	20.0	52.3	3.1
	2歳	80	18.8	12.5	60.0	8.8
	3歳	73	21.9	9.6	67.1	1.4
	4歳	77	15.6	-	76.6	7.8
	5歳	73	4.1	1.4	87.7	6.8
	6歳	48	14.6	2.1	72.9	10.4

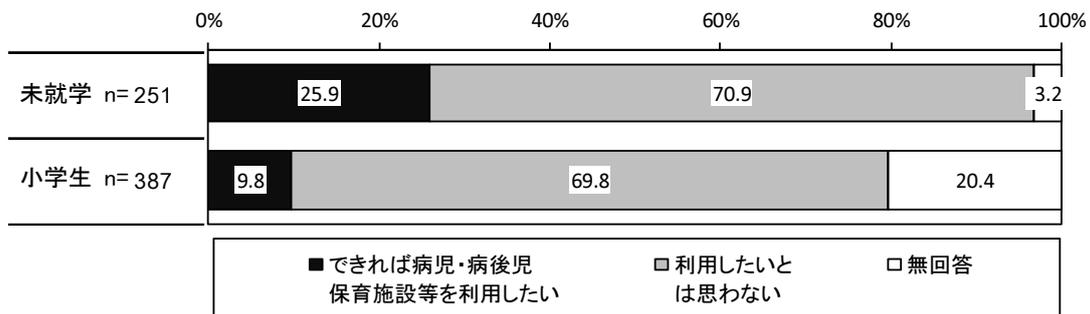
(2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

◎病児・病後児のための保育施設等を利用希望は、未就学が2割台半ばと比較的多い。

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が未就学は2割台半ば、小学生は1割を割っています。

地区別にみると、明倫地区の利用希望は約4割に上り、小学生も1割台半ばと比較的多くなっています。

病児・病後児のための保育施設等の利用希望



(件,%)

	未就学				小学生				
	合計	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答	合計	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答	
全体	251	25.5	71.4	3.1	90	67.8	25.6	3.3	
地区別	成美地区	23	17.4	82.6	-	65	9.2	72.3	18.5
	明倫地区	43	39.5	55.8	4.7	64	14.1	62.5	23.4
	足柄地区	27	14.8	77.8	3.7	35	5.7	77.1	17.1
	北郷地区	105	24.8	71.4	1.9	124	9.7	73.4	16.9
	須走地区	58	22.4	67.2	1.7	98	9.2	65.3	25.5

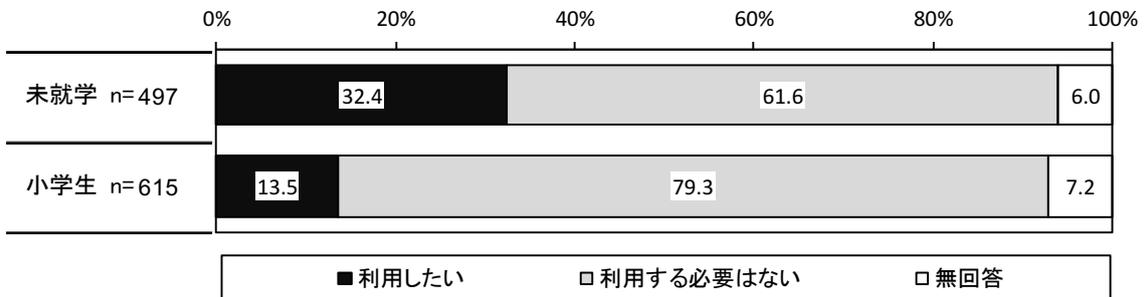
(3) 一時預かり

◎一時預かりの利用希望は未就学が3割台半ばで、その目的は不定期の就労が前回よりも上昇

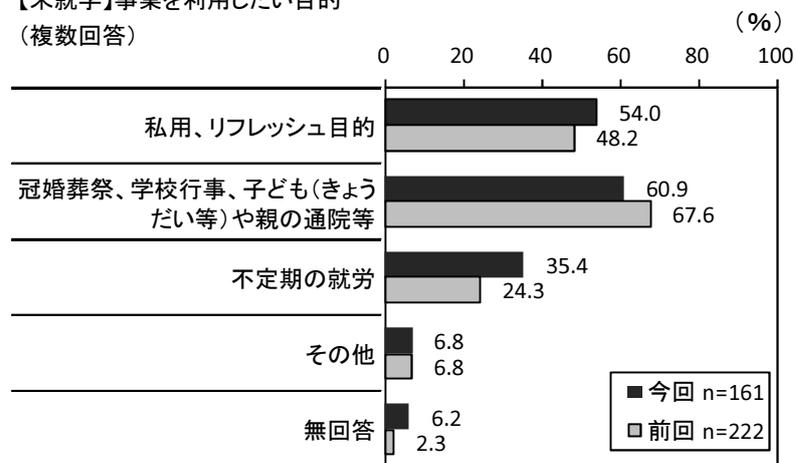
一時預かりの利用希望は、「利用したい」が未就学は3割台半ば、小学生は1割強となっています。

事業を利用したい理由は、未就学及び小学生ともに「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだい等）や親の通院等」が最も多いものの前回よりも低下し、「私用、リフレッシュ目的」及び「不定期の就労」は上昇しています。特に未就学は「不定期の就労」が35.4%と前回よりも11.1ポイントと大きく上昇しています。

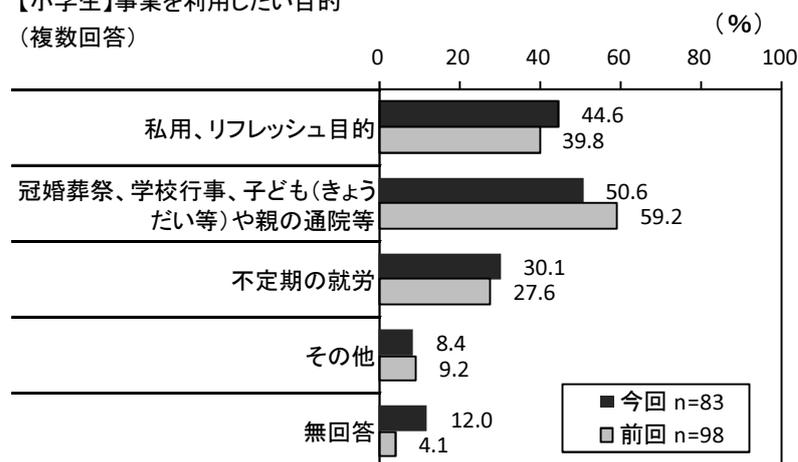
一時預かり等の事業を利用する必要



【未就学】事業を利用したい目的  
(複数回答)



【小学生】事業を利用したい目的  
(複数回答)



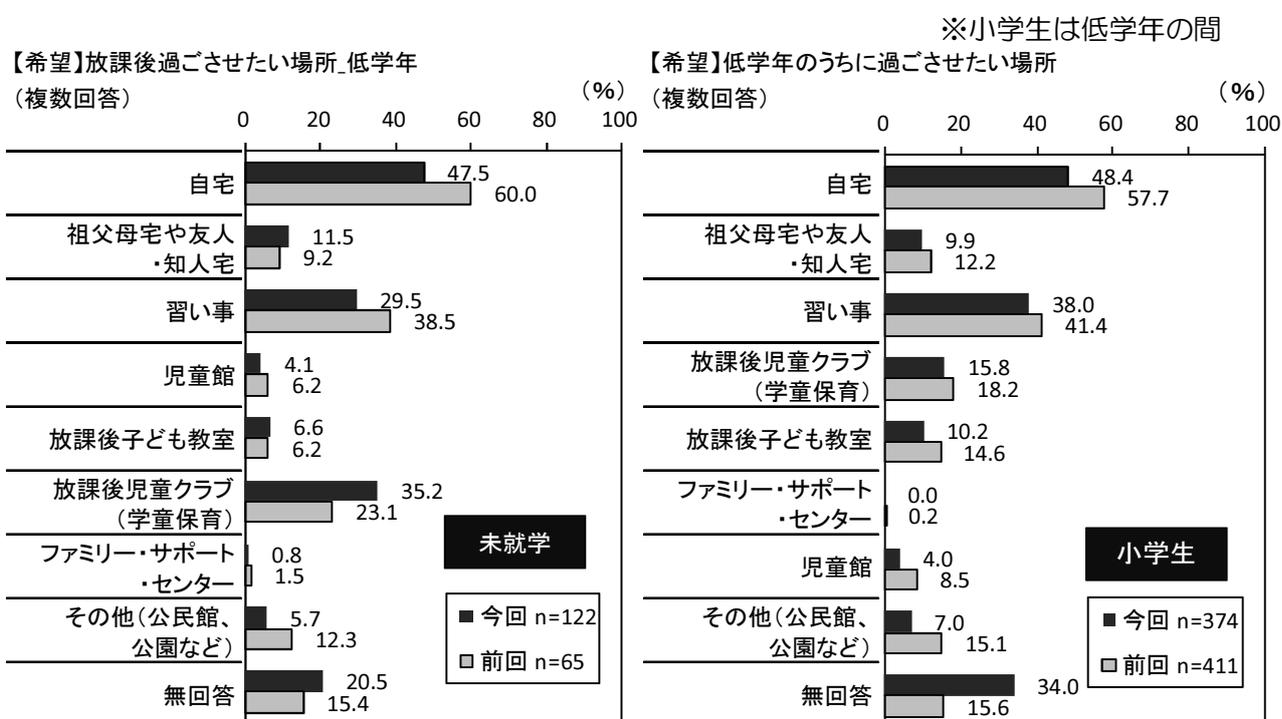
## 6 放課後の過ごし方

### (1) 放課後の過ごし方の希望

#### ◎未就学は放課後児童クラブの利用希望が前回よりも大きく上昇

未就学は、小学校に入学してからの放課後の過ごし方については、「自宅」が47.5%と最も多いものの前回よりも12.5ポイント低くなり、その一方で、「放課後児童クラブ」が35.2%と、前回よりも12.1ポイント上昇しています。

小学生1～3年生は、放課後の過ごし方については、1位が「自宅」で48.4%、2位が「習い事」で38.0%、3位が「放課後児童クラブ（学童保育）」で15.8%となり、いずれも前回よりも低下しています。

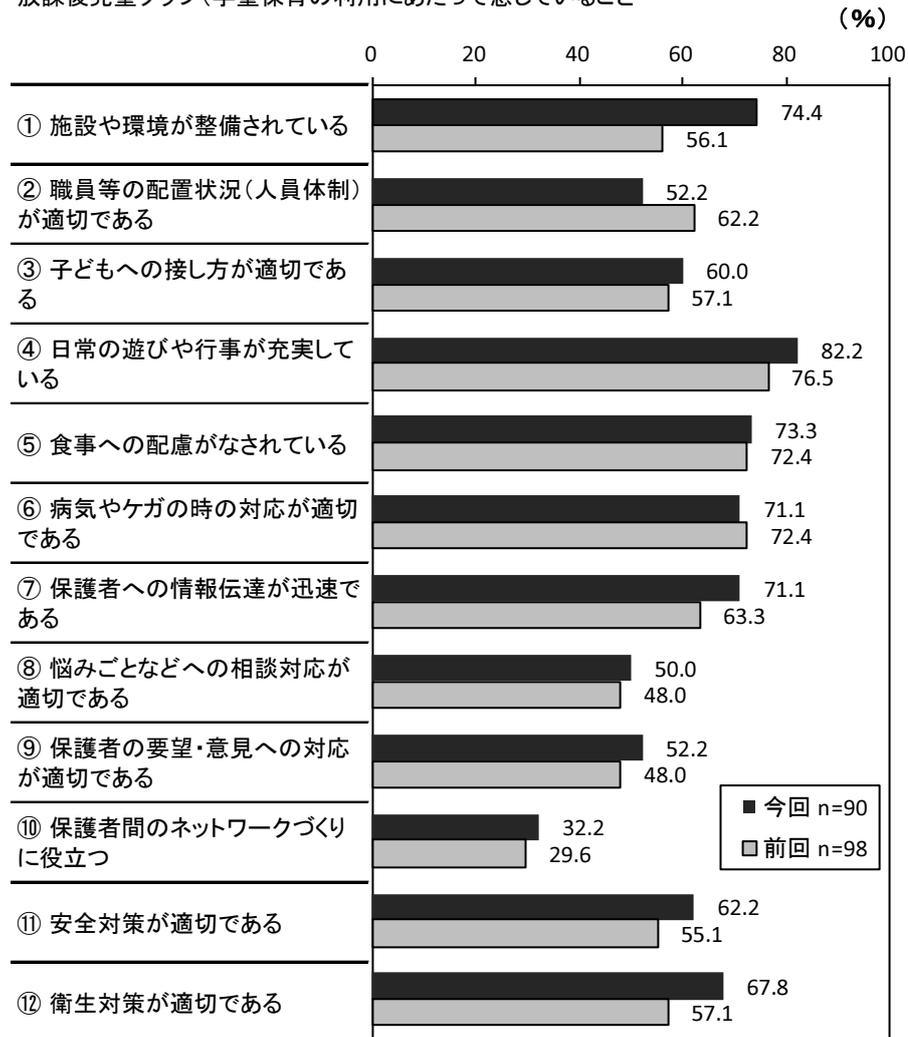


(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の利用にあたって感じていること

◎放課後児童クラブの評価は概ね前回よりも上昇しているものの、職員等の配置状況に対する評価は低下

放課後児童クラブ（学童保育）に対して感じていることは、「① 施設や環境が整備されている」は18.3ポイント上昇するなど、概ね前回は上回っていますが、「② 職員等の配置状況（人員体制）が適切である」は52.2%と前回よりも10ポイント低下しています。

放課後児童クラブ(学童保育の利用にあたって感じていること

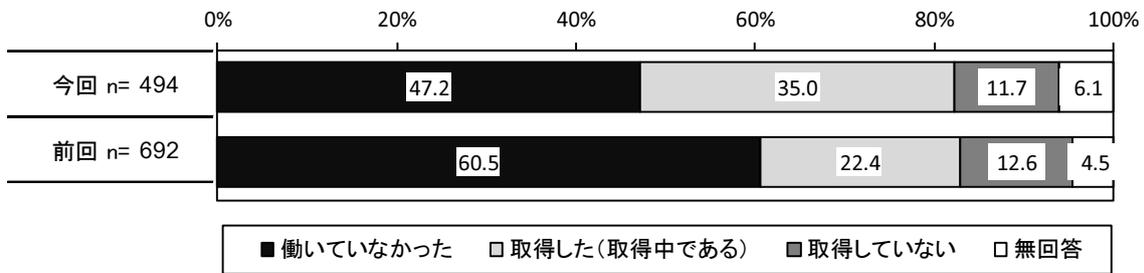


## 7 母親：育児休業の取得状況

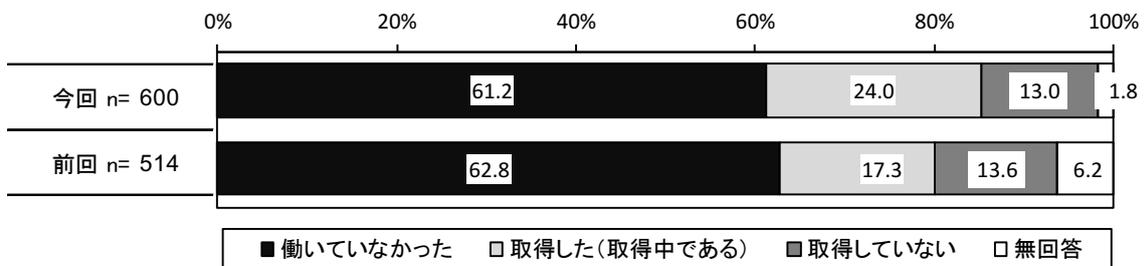
### ◎母親の育児休業の取得率は未就学が大きく上昇

母親の育児休業については、未就学及び小学生ともに上昇していますが、特に未就学は「取得した（取得中である）」が35.0%と前回よりも12.6ポイント上昇しています。

【未就学】母親の育児休業の取得の有無



【小学生】母親の育児休業の取得の有無



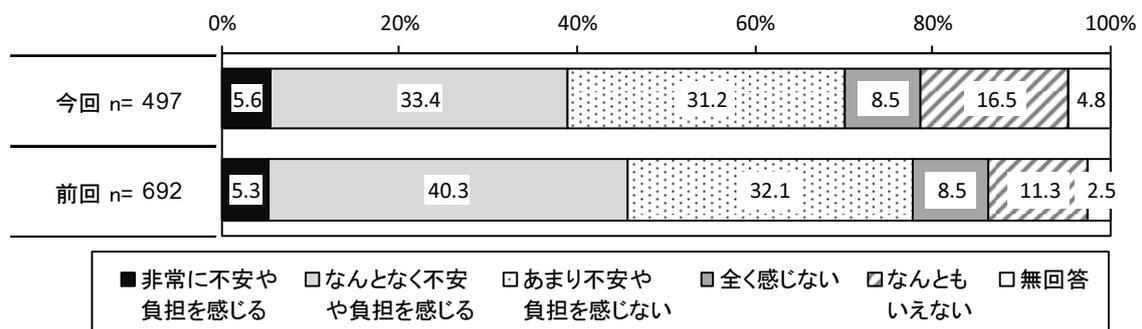
## 8 小山町における子育て環境や支援について

### (1) 子育てに関する不安感や負担感

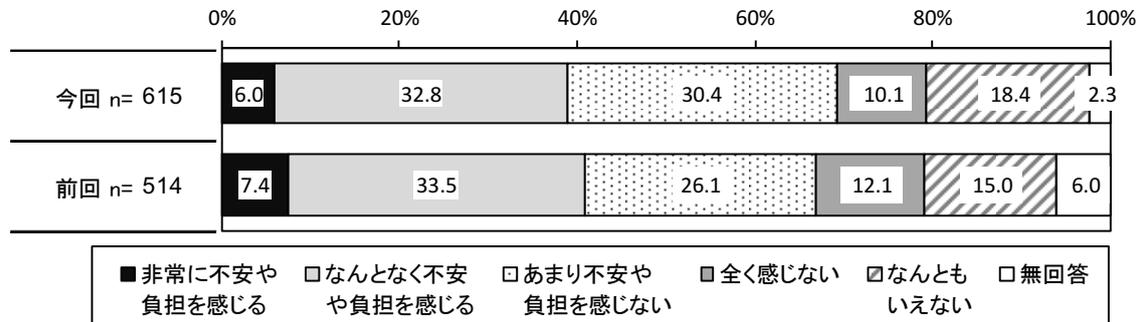
#### ◎子育てに関する不安感や負担感は、未就学及び小学生ともに低下

子育てに関する不安感や負担感は、未就学及び小学生ともに不安や負担を感じるという合計は前回よりも低下しており、未就学は 39.0%で前回よりも 6.6 ポイント、小学生は 38.8%で前回よりも 2.1 ポイント低下しています。ただし、不安や負担を感じないという合計は横ばいとなっています。

【未就学】子育てに関する不安感や負担感



【小学生】子育てに関する不安感や負担感



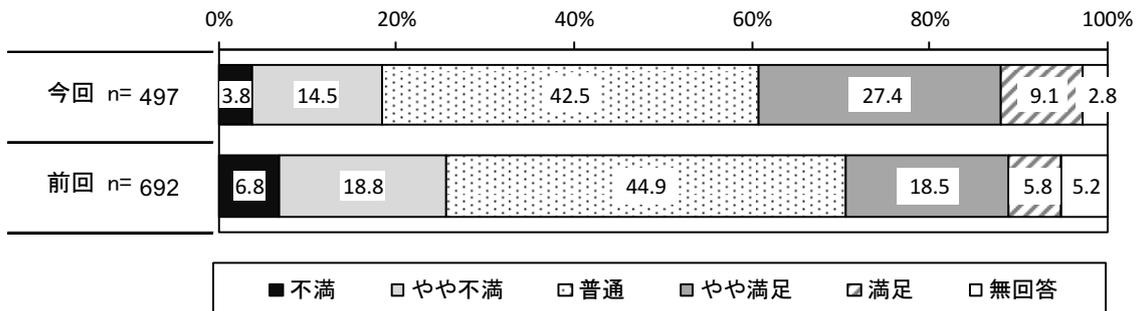
(2) 小山町における子育ての環境や支援への満足度

◎満足度は、未就学及び小学生ともに3割台となり、前回よりも上昇

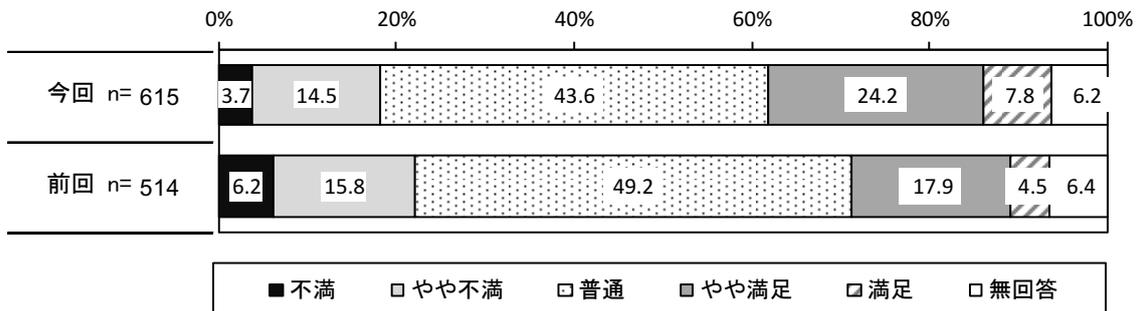
小山町における子育ての環境や支援への満足度の合計は、未就学及び小学生ともに前を上回っており、未就学は36.5%で前回よりも12.2ポイント、小学生は32.0%で9.6ポイント上昇しています。

また、子育ての不安感別にみると、不安を感じている人は、町の子育ての環境や支援に対する不満度が高い傾向がみられます。

【未就学】小山町における子育ての環境や支援への満足度



【小学生】小山町における子育ての環境や支援への満足度



(件,%)

		未就学 件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		497	18.3	36.5
不安感等を感じる程度別	非常に不安や負担を感じる	28	28.6	28.6
	なんとなく不安や負担を感じる	166	24.7	34.9
	あまり不安や負担を感じない	155	12.2	39.4
	全く感じない	42	14.2	38.1
	なんともいえない	82	15.8	37.8

(件,%)

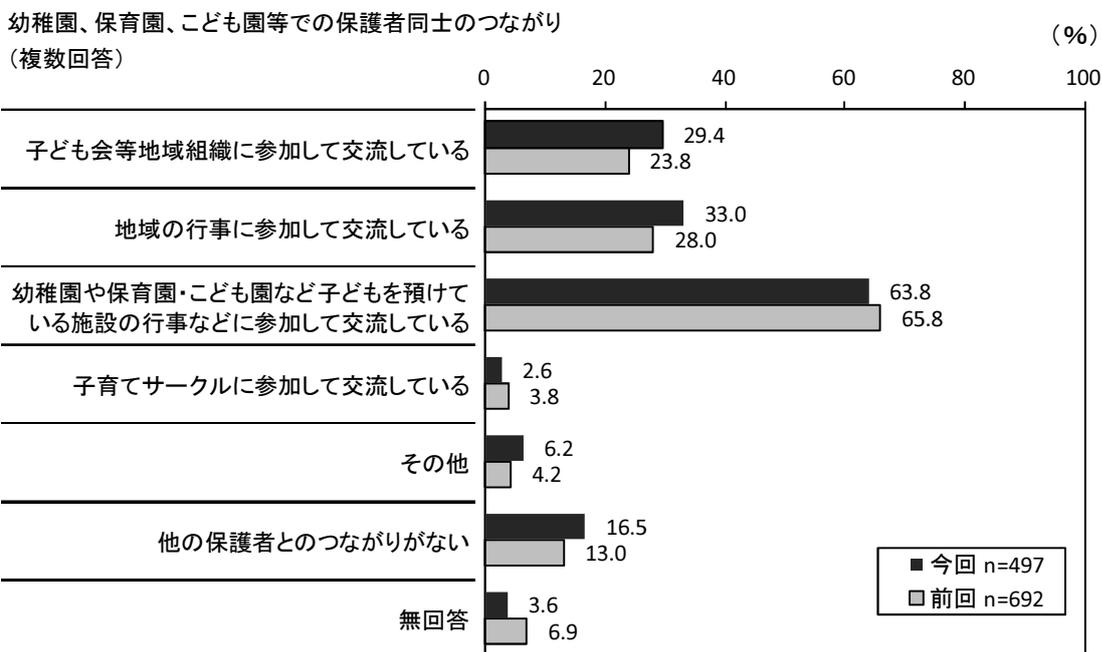
		小学生 件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		615	18.2	32.0
不安感等を感じる程度別	非常に不安や負担を感じる	37	35.1	18.9
	なんとなく不安や負担を感じる	202	26.2	29.7
	あまり不安や負担を感じない	187	9.7	36.3
	全く感じない	62	19.3	38.7
	なんともいえない	113	11.5	30.1

(3) 幼稚園、保育園、こども園等での保護者同士のつながり

◎保護者同士のつながりは、子ども会や地域行事への参加が上昇

幼稚園、保育園、こども園等での保護者同士のつながりは、第1位は「幼稚園や保育園・こども園など子どもを預けている施設の行事などに参加して交流している」で、前回と同程度となり、第2位の「地域の行事に参加して交流している」及び第3位の「子ども会等地域組織に参加して交流している」は3割前後となり、前回よりも5～6ポイント上昇しています。

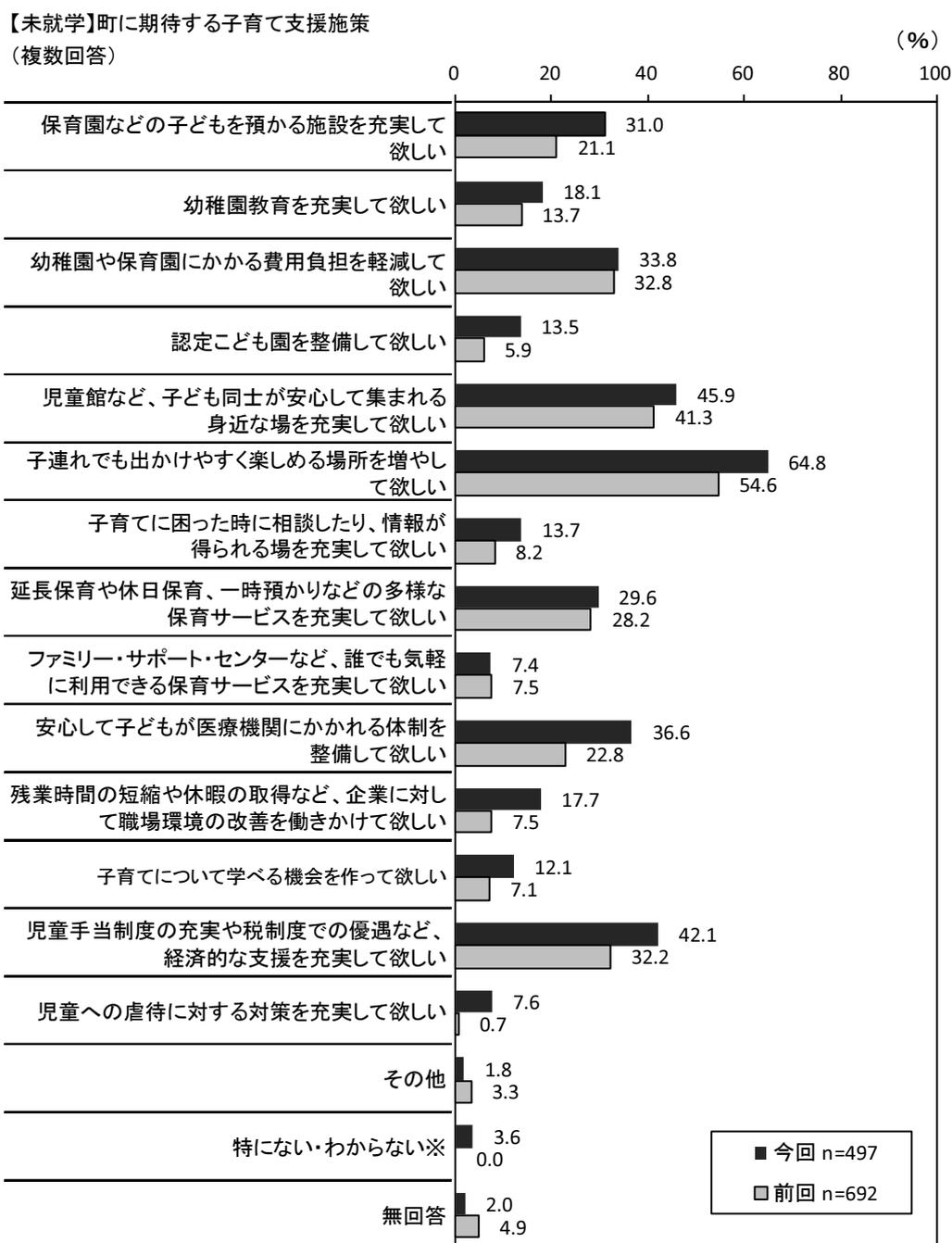
また、「他の保護者とのつながりがない」は1割台半ばと少ないものの、前回よりも3.5ポイント上昇しています。



(4) 期待する子育て支援施策

◎期待する子育て支援策は、未就学及び小学生ともに子連れでも出かけやすく楽しめる場所が多い

期待する子育て支援施策については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」は、未就学は1位、小学生は2位とニーズが高くなっています。また、未就学は全体的に前回よりも上昇しており、中でも、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」は36.6%と前回よりも13.8ポイント上昇しています。



※前回調査では選択肢なし

【小学生】町に期待する子育て支援施策  
(複数回答)

(%)

